

2021年度～2022年5月の活動報告(つづき)

「おたがいさまフェスタ」「もったいないバザール」に参加しました

せたがやチャイルドラインは、世田谷ボランティア協会主催のイベント、4月の「ミニおたがいさまフェスタ」、5月の「鳥山もったいないバザール」に参加しました。どちらも天気恵まれ、多くの方に楽しんでいただきました。私たちはこれらのイベントで、チャイルドラインの活動を知ってもらうために、手づくり品などを販売しながらチラシを渡しました。また来場した子どもたちにチャイルドラインカードを手渡し、子どもたちの「知ってるー!」などという反応をみることができるのは、イベントならではの実感でした。これからもイベントを通して、チャイルドラインの活動を伝え、子どもたちが安心して話ができる環境づくりをしていきたいと思います。

最後に、手作りの作り手さん、福岡県八女の農家さん、そしてイベントで設営など協力いただいたボランティアのみなさん、本当にありがとうございました。2つのイベントの売上は、24,160円でした! 通話料やポスターなどの制作費にあてさせていただきます。



おたがいさまフェスタ



もったいないバザール



せたがやチャイルドライン事務局

〒154-0002 世田谷区下馬2-20-14 電話:03-5712-5101 FAX:03-3410-3811

メールアドレス:childline@otagaisama.or.jp 担当:小畑・高屋

ご寄付の方法

1. 郵便局

本振込用紙をお使いください

2. ネットバンキング

<https://www.otagaisama.or.jp/childline/donation>



収入印紙
課税相当額以上
貼付

印

18才までの子どものための電話とチャット



せたがやチャイルドライン
ニュースレター



2021年度～2022年5月の活動報告

With コロナと子どもたち

運営委員長 田野 浩美

Withコロナの生活様式がだいぶ浸透してきました。不便だと思っていた生活様式にも、2年以上過ごして慣れてきた部分があります。これまで当たり前だと思っていた人とのコミュニケーションの仕方や、相手の感情の読み取りの方法が変化したように感じています。おとな同士も人付き合いが難しい時代になりましたね。

マスクで隠された「表情」をどう想像したらよいのでしょうか。おとなにも難しいことは子どもたちも同様に感じていると思います。またマスクを外していいと言われても、顔を隠していることに安心してしまっただけなのが嫌だという子もいるようです。子ども時代にはだれでも経験があるような、耳元での内緒話やクスクスと友達同士で顔を見合わせて笑い合うような楽しさを子どもたちは味わっているのかな、と気になります。今の小学校1年生から3年生まではクラスの人と対面で給食を食べたことがなく、ずっと黒板に向かって黙食をしているそうです。「向き合って食べていいですよ」と言ってもそうしないのは当然だろうと想像できます。これからの人との付き合い方を、子どももおとなも手探りで見つけていかなければなりません。子どもの苦勞や辛い思いを、チャイルドラインでは受け止めていきたいと思います。

そんな中で、せたがやチャイルドラインには今年度の受け手養成研修に多数の応募がありました。チャイルドラインに多くの仲間たちが入ってくれることはとても心強いものです。多くの皆様のご協力でチャイルドラインの活動が成り立っていることに感謝いたします。

第26期 受け手養成公開講座がはじまりました!



5月から第26期受け手養成公開講座が始まりました。春から夏にかけての実施は、3年ぶりになります。今年のはじめての試みとして、全8回講座のうち6回はZoomでのオンライン参加も可能にしたハイブリッド形式で実施しています。会場とオンライン、両方からの参加を取り入れたことで、オンラインが不慣れな方も子育てやお仕事などで現地参加が難しい方も気軽に参加できるようになりました。この講座を受講し、受け手を本格的に目指す方のための受け手養成専修講座は9月から全8回で開催予定です。

ホームページをリニューアルしました

せたがやチャイルドラインのホームページをリニューアルしました! 制作するにあたり、ボランティアが中心に構成や文章を考えました。今後、ホームページからみなさまに情報発信ができるよう更新を重ねていきます。

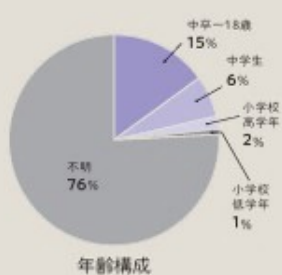
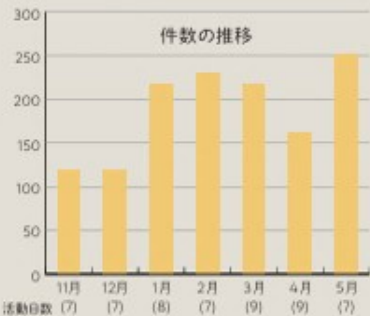
<https://www.otagaisama.or.jp/childline>



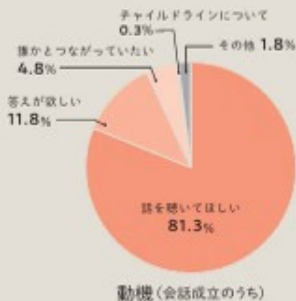
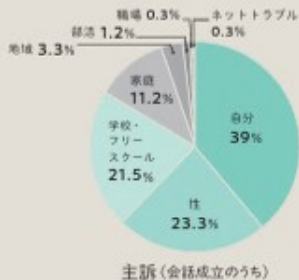
せたがやチャイルドラインで受けた電話・チャットの概要 (2021年11月~2022年5月)

電話

総受信件数は1313件、うち会話成立は331件でした。



電話の年齢構成で「不明」の割合が76%を占めているのは、「無言」や「会話不成立(一言だけで終わってしまう等)」の多さが影響しています。受信件数の34%が無言、41%が会話不成立でした。無言には色々な意味があり、一言も様々です。私たちは、無言や一言に込められた子どもたちの気持ちも大事にしたいと考えています。



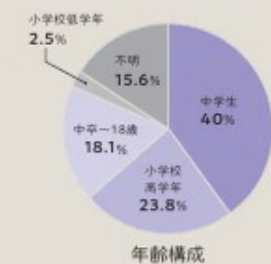
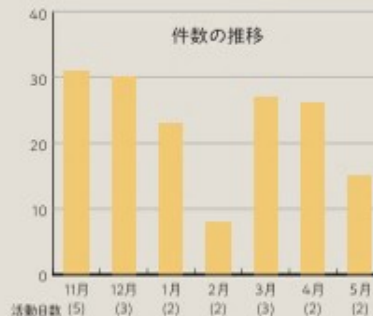
電話をかけた動機の81.3%が「話を聴いてほしい」で、主訴で最も多かったのは「自分」についての39%でした。自分の不安な気持ちや困惑している気持ちを話してくれました。

気持ちトップ3

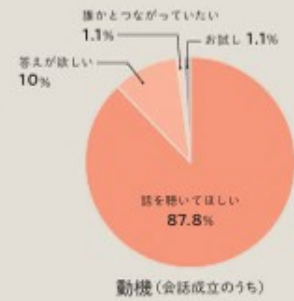
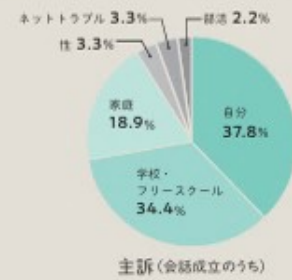
- 1位 不安
- 2位 困惑・困っている
- 3位 つらい・苦しい

チャット

総受信件数は160件、うち会話成立は90件でした。



チャット利用者のうち、40%が中学生で、23.8%が小学校高学年でした。電話では、中学生と小学校高学年を合わせても8%であることから、この世代にとってはチャットの方が話しやすいツールのようなようです。



気持ちトップ3

- 1位 つらい・苦しい
- 2位 不安
- 3位 イヤだ

チャットを利用した動機の87.8%が「話を聴いてほしい」で、主訴で最も多かったのは「自分」についての37.8%、次が「学校・フリースクール」の34.4%でした。つらい・苦しい気持ちを話してくれました。

ご寄付をお願いします

せたがやチャイルドラインは、1996年に立ち上げられた「世田谷こどもいのちのネットワーク」の「いじめよ、とまれ」キャンペーンをきっかけに、1998年に日本で初めて「18才までの専用電話」として開設されました。現在では全国で約70か所のチャイルドラインの仲間たちと連携し、2020年からはこれまでの電話に加えチャットでも子どもたちの声を受け止め始めました。

せたがやチャイルドラインの活動継続には、カード・チラシの配布、電話を受けるボランティア育成のための講座の開催、電話の通信費など年間300万円ほどかかります。それに加え新たにチャットの機器の充実も一つの課題です。電話とチャットを通して子どもたちの声をより多く受け止めていけるよう、皆様のご支援とご協力をお願いします。

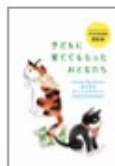
寄付金控除を受けられます

3,000円以上、おいくらでも大歓迎です
10,000円以上は下の返礼品をお送りします

- 10,000円～
- 30,000円～
- 50,000円～



ボランティアさんによる手作り品/お礼状
*写真は一例です



せたがやチャイルドライン受け手養成講座 講義集/お礼状



ボランティアさんによる手作り品/お礼状
*写真は一例です

*返礼品が不要な方は右の通信欄に「返礼品不要」とお書きください

◆寄付金は、所得控除の寄付金控除の対象となります。所得控除の寄付金控除を受ける場合は連名で「住所・氏名・連絡先」と合わせてお送りください。希望の金額は必ずお書きください。後日領収書をお送りします。
◆匿名希望の方は通信欄に「匿名希望」を入れてください。

払込取扱票	
00	金額
001508	279963
加入者名	社会福祉法人世田谷ボランティア協会
ご依頼人・通信欄	寄付申込書 せたがやチャイルドライン応援団費 <input type="checkbox"/> 領収書が必要な方はチェックをお入れください。 応援費 1口3,000円×()口 (任意の額でも結構です) 特別応援費 1口10,000円×()口 <input type="checkbox"/> 匿名希望 返礼品が不要な方は振込用紙の通信欄に返礼品不要とお書きください。
日	附
印	

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001508
金額	279963
加入者名	社会福祉法人世田谷ボランティア協会
ご依頼人	様
料金額	円
備考	

この受領証は、大切に保管してください。